

【日商簿記検定3級】帳簿の締め切り問題

問1. 決算振り替え仕訳

決算にあたり、収益・費用の各勘定残高は下記の通りであった。

売 上	2,000,000	受取手数料	120,000	受取利息	20,000
仕 入	1,200,000	給 料	500,000	消耗品費	80,000
支払地代	90,000	支払利息	10,000	雑 費	40,000

1. 収益の各勘定残高を損益勘定に振り替える仕訳を行いなさい。
2. 費用の各勘定残高を損益勘定に振り替える仕訳を行いなさい。
3. 当期純利益（損失）を繰越利益剰余金勘定に振り替える仕訳を行いなさい。

問2. 応用問題

次の資料にもとづいて、解答用紙の損益勘定および繰越利益剰余金勘定の記入を行いなさい。なお、当期は20X2年4月1日から20X3年3月31日までである。

【資料】

1. 当期の総売上高は¥2,480,000であり、売上戻り高は¥230,000である。
2. 決算整理前の繰越利益剰余金の残高は¥800,000である。
3. 仕入勘定の借方残高は¥1,450,000である。
4. 仕入以外の費用は全てまとめて「その他費用」勘定に集計している。

【注意事項】

摘要欄の勘定科目等は以下から最も適当なものを選択し、記号で答えなさい（複数回使用可能）。

ア 損益	イ 仕入	ウ その他費用
エ 売上	オ 損益	カ 繰越利益剰余金
キ 前期繰越	コ 次期繰越	